



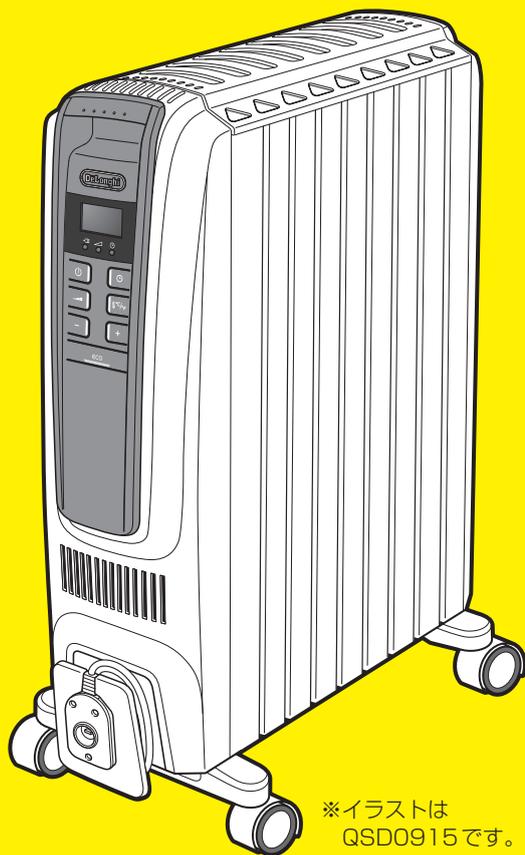
Electric Oil-Filled Heater

デロンギ
ドラゴンデジタルスマート
オイルヒーター

型式番号 QSD0915/ QSD0712 (共通)

※型式番号の後に続くハイフンおよびアルファベットは色番号を表しています。

家庭用



※イラストは
QSD0915です。

取扱説明書 (保証書付)

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

● 本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

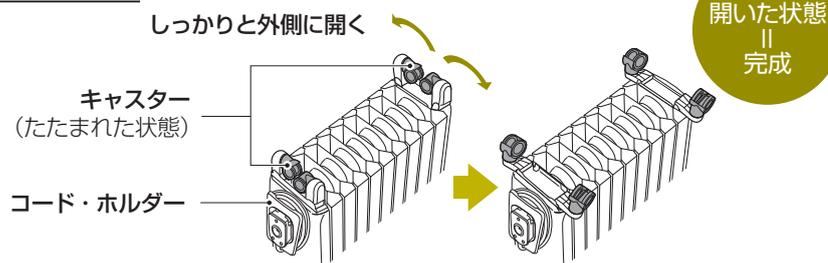
目次

安全上のご注意	1
ご使用前に	3
オイルヒーターについて	5
設置する	5
各部の名称とはたらき	7
暖房を開始する	9
暖房運転を終える	10
暖房の調整をする	10
エコ運転の使い方	11
タイマー運転の方法	12
便利な機能について	13
お手入れ/保管のしかた	14
故障かな?	15
これは故障ではありません	16
まごころ点検について	17
仕様	17
アフターサービス	18
保証書	裏表紙

折りたたみ式キャスターの開き方

折りたたみ式キャスターを開く手順

- ①ヒーターの底部を上にして仰向けにします。
- ②キャスター全てを、しっかりと外側に開きます。
- ③ヒーターをゆっくりと起こします。



安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



警告



定格 15 A (100 V) のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

- ※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。
- ※ 海外など異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

- ※ 3 ページ「電源プラグ・コード、コンセントの定期点検」参照

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体が転倒または落下し、損傷した。

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

お子様や自分で本機の温度調整ができない方には必ず付き添う

(火災、感電、やけど、けがの原因)

- 子供が機器(電源コード含む)で遊ばないように監視する。
- ※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。小さなお子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる人が付き添ってください。



電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- コードに重たいものを載せたり、本機の下敷きにしらない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- コードをピンと引っ張ったまま使用しない。
- コードを引っ張って本体を移動させない。
- 高温部や、他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

運転中に電源プラグを抜き差ししない

(火災、感電の原因)

電源コードを巻き付けたまま使用しない

(火災の原因)

- ※ 余った電源コードは伸ばしたまま使用してください。

収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない

(火災の原因)

- ※ 14 ページ「お手入れ/保管のしかた」参照

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使用しない。

(火災、やけど、けがの原因)

- 電源をとるコンセントのすぐ下で使用しない。
- スプレー缶やカセットボンベを本体の近くに置かない。

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(感電、けがの原因)

- ※ 特に小さなお子様にはご注意ください。



覆い掛け禁止

本体や通気口をふとんや衣類などで覆わない

(火災の原因)

- 乾燥など他の用途で使用しない。

安全上のご注意 <必ずお守りください> (つづき)



注意



決められた設置方法に従う

(火災、感電、やけど、けがの原因)

※ 5ページ「設置場所についてのご注意」参照

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う

(感電、けが、やけどの原因)

※ 階段や段差を移動させるときは、必ず手袋などで手を保護し、本体底部を持って移動させてください。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)



水、湿気の多い場所で使用しない

(火災、感電の原因)

- 屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使用しない。
- 硫化ガスが発生する場所(温泉地の脱衣所など)や塩害のおそれのある場所で使用しない。

電源の入切をするための部品(タイマーなど)やその他の製品、部品を組み合わせて使用しない

(火災、感電の原因)

本体に水などの液体をこぼしたり、水洗いしたりしない

(火災、感電の原因)

運転中および運転停止後しばらくは、本体に触れない

(やけどの原因)

本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない

(けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

犬や猫などのペットの暖房に使わない

(火災の原因)

知っておいていただきたいこと：ブレーカーについて

ブレーカー(分電盤内にある回路遮断器)は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き(=落ち)ます。

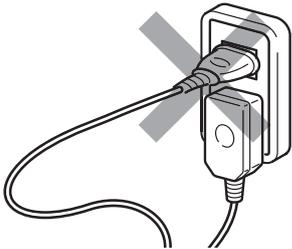
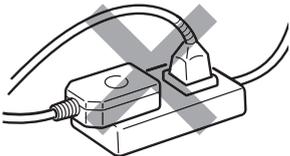
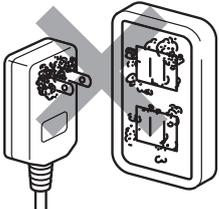
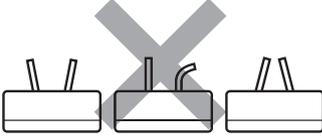
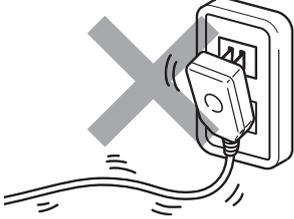
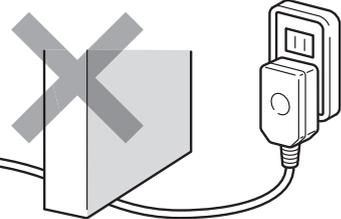
※ 契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

ご使用の前に

電源プラグ・コード、コンセントの定期点検

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記に従って、電源プラグ、電源コード、およびコンセントを定期的に点検してください。

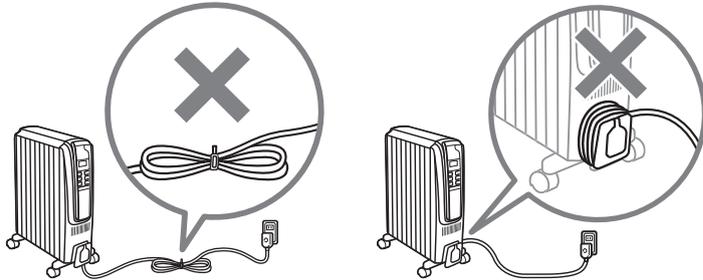
電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート

チェックポイント		詳細説明
<input type="checkbox"/> コンセントを他の機器と併用していませんか？		定格 15A (100V) のコンセントをお使いください。コンセントが2口の場合は、片方を空けて単独でお使いください。 他の器具と併用して容量がオーバーすると異常発熱し、火災の原因になります。
<input type="checkbox"/> 延長コードやテーブルタップを使っていませんか？		延長コードやテーブルタップなどは使用しないでください。電源はコンセントから直接お取りください。 コンセントや電源プラグ/電源コードが異常発熱し、火災の原因になります。
<input type="checkbox"/> 電源プラグやコンセントにほこりがついていませんか？		付着したほこりは、掃除機などで定期的に取り除いてください。 電源プラグとコンセントの接触面にほこりが付着し、湿気が加わると、トラッキング現象が発生し、火災の原因になります。
<input type="checkbox"/> 電源プラグ(刃)が変形していませんか？		電源プラグ(刃)が変形した場合は、販売店または当社にプラグの交換をご依頼ください。 曲がった刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因になります。 (曲がった刃をペンチなどで手直ししないでください。)
<input type="checkbox"/> コンセントにガタツキはありませんか？		コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。 緩みのあるコンセントを使用すると、電源プラグ(刃)と十分な接触が得られず異常発熱し、火災の原因になります。
<input type="checkbox"/> 電源コードに重い物が載っていませんか？		電源コードに重いものを載せたり、壁に押し付けたりしないでください。 電源コードに無理な力が加わると、電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。

ご使用前に（つづき）

チェックポイント

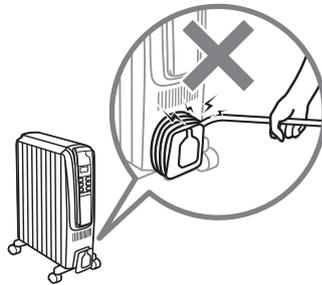
- 電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたまま使っていませんか？



詳細説明

余った電源コードは残さずコードホルダーから解き、伸ばしたままお使いください。電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたままお使いになると、異常発熱し、火災の原因になります。

- 電源コードをコードホルダーに強く巻いていませんか？



収納するときは、電源コードをコードホルダーに強く巻きつけしないでください。電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、火災や感電の原因になります。

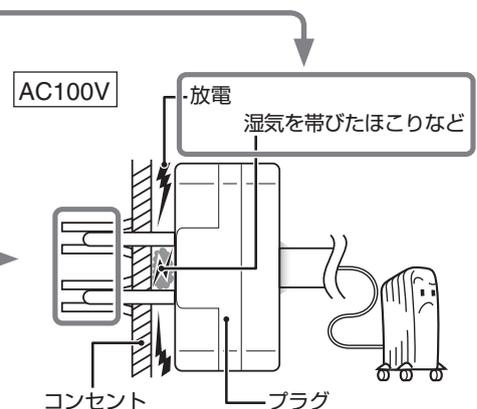
■ トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにほこりが溜まると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。

トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます(14ページ参照)。

■ 電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形・変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



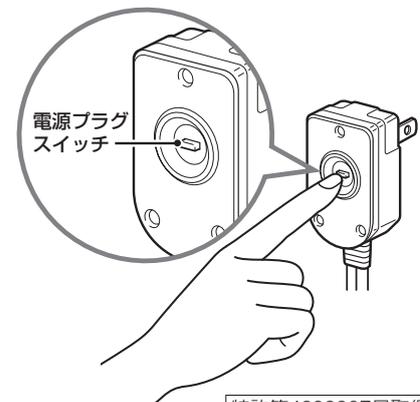
ご使用前に電源プラグをご確認ください

本製品の電源プラグは、復帰型温度過昇防止装置内蔵の安全プラグです。復帰型温度過昇防止装置は、コンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱・発火事故を未然に防ぐために、電源プラグスイッチ周辺が異常過熱(約80℃以上)したときに本製品の電源を自動で切ります。

輸送時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動して、購入直後に本製品の電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。

電源プラグをコンセントに差し込んででも操作パネルの通電ランプが点灯しないときは、電源プラグスイッチ(右図)をカチッと音がするまでプラグ内に押し込んでください。

- ご使用前(シーズンごと)に電源プラグスイッチがプラグ内に押し込まれているか確認してください。

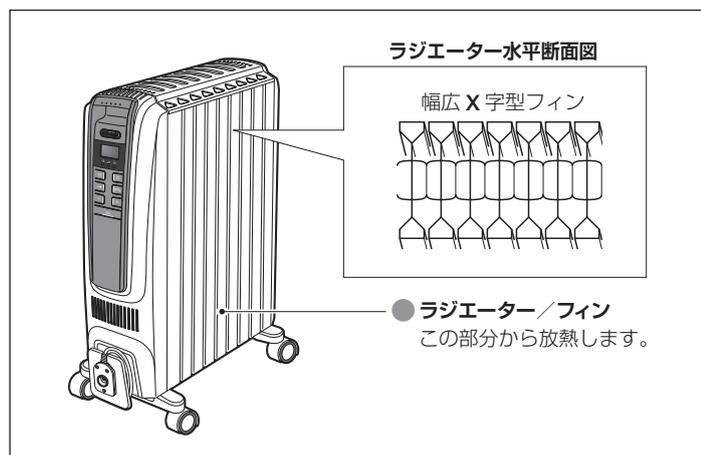


特許第4209907号取得

オイルヒーターについて

暖房のしくみ

ラジエーター内部に密封した難燃性オイルを本体の下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環して、幅広 X 字型フィン（放熱板）から効率良く放熱された輻射熱と自然対流で室内を暖めます。



よくあるご質問(これは故障ではありません)

■ 使いはじめの臭いについて

使いはじめは新製品特有の臭いを感じる場合があります。本体の耐熱塗装が熱になじむまで臭いを感じますが機能や安全性に問題はありません。しばらくお使いいただくと臭いはおさまります。

■ 運転中にパチッパチッと音がする

電源を入ると、ラジエーター内部で天ぷらを揚げるような音がする場合があります。これは、外気との温度差によって生じた結露が熱くなったオイルに落ちたときの音です。異常ではありません。

設置する

ご購入後すぐに



必ずキャスターを開いて使用する

※ 設置前に必ず折りたたみ式キャスターを開いてください。
(開き方については表紙参照)

本機を移動するときは



本体の移動は、必ず本体が冷えてから行う

- 取っ手を持ちゆっくりと引いてください。
- 階段や段差を移動するときは、本体底部を持って移動してください。
※ 持つときは必ず手袋などで手を保護してください。

設置場所についてのご注意



壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから 20 cm 以上離す

※ 材質によっては、本体の熱で変色／変質する恐れがあります。

テーブルや机の下で使わない

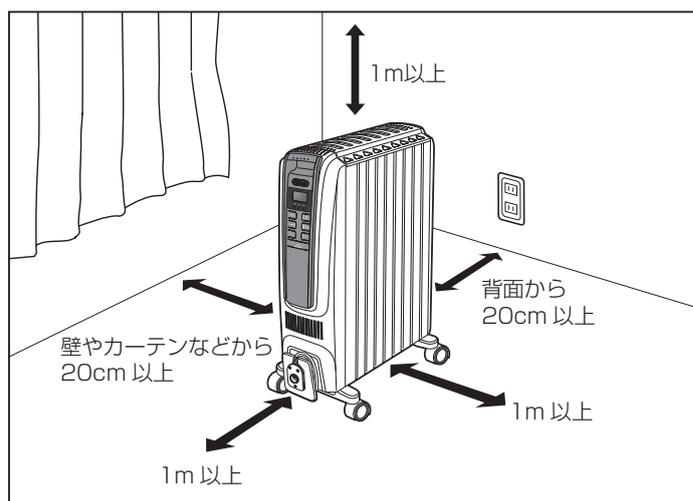
※ 本体の上部は燃えやすいものから 1 m 以上の距離を取ってください。上部をふさぐと空気の対流ができないため高温になります。

人や家具などからは 1 m 以上離す

※ 寝室で使用するときは、寝起きの転倒事故防止、寝具への接近を考慮して 1 m 以上の距離を取ってください。

毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

※ 本体が倒れるとけがの原因になります。

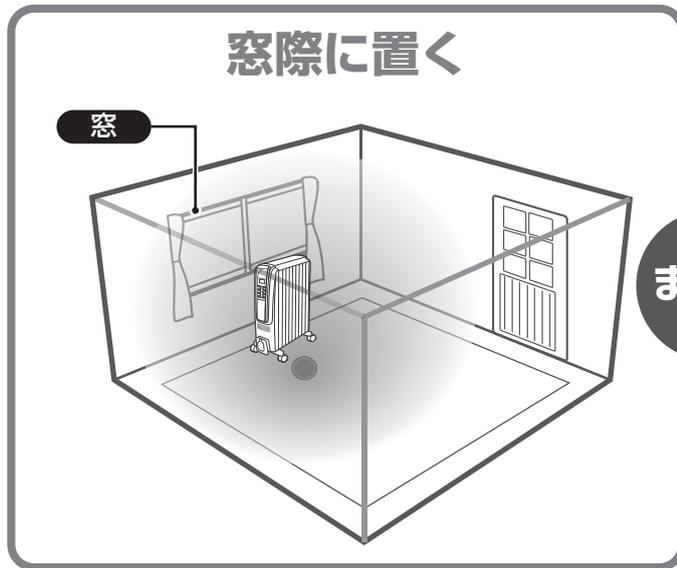


- ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく働きません。

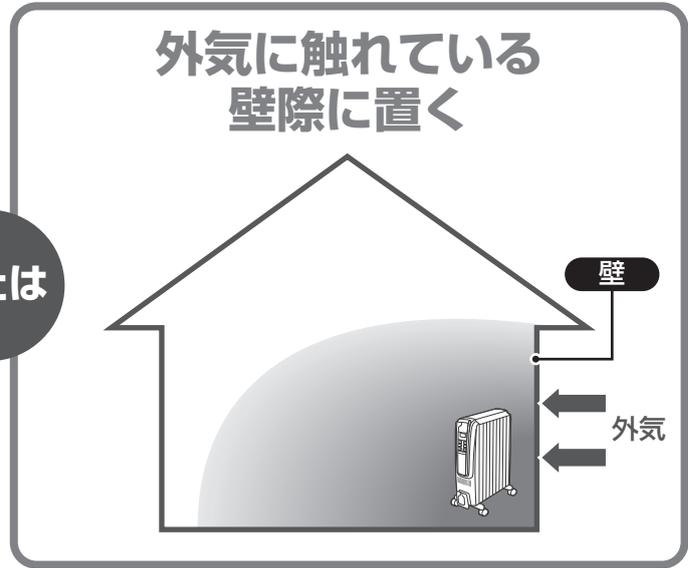
設置する（つづき）

設置場所の工夫で効果的な暖房を

オイルヒーターの熱が、冷気の侵入をブロックすることで部屋の暖房効果が高まります。お部屋の中でも屋外からの冷気に影響されやすい、次のような場所に置いてください。

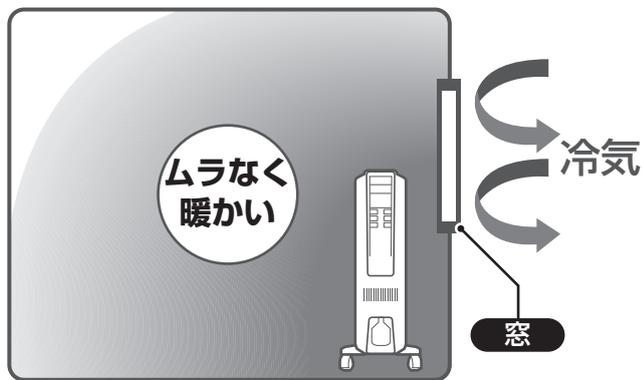


または



■ 設置場所の良い例と悪い例

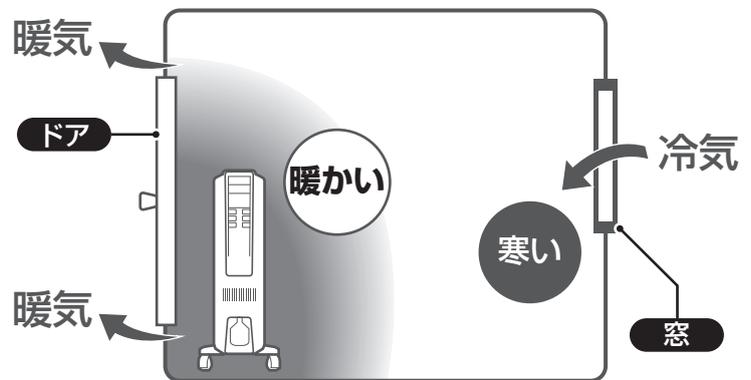
○ 良い例



- 窓際に置くとムラなく暖かい



× 悪い例



- 冷気が侵入し温度ムラがしやすい
- ドア付近に設置すると暖まった空気が室外に逃げやすい

■ その他の工夫

窓からの冷気の侵入を防いでお部屋の断熱性を高めると、さらに暖房効率が上がります。

- 厚手で長めのカーテンを引く
- 窓に市販の断熱シートを貼る
- サッシに市販の断熱テープを貼る

お知らせ

当社のWEBサイトでは、オイルヒーターをより効果的に使う方法や電気代の目安となるシミュレーションなどをご案内しています。

オイルヒーター特設サイト
<http://oilheater.delonghi.co.jp/>



各部の名称とはたらき

〈暖房のしくみ〉

ヒーター内部に密封した難燃性オイル(★)を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはフィン内を循環、効率よく放熱し、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。★オイルの補充・交換は不要です。

本体



ご使用前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ずはがしてください。

通気口



故障の原因になりますので、絶対にふさがないようにしてください。

コード・ホルダー

ヒーターを使わない時/移動する時などに、電源コードを巻いておきます。

温度センサー部

周辺の温度を感知します。誤作動・故障の原因となりますので、ふさいだり、むやみに触れたりしないでください。

電源プラグ (安全プラグ)

復帰型温度過昇防止装置内蔵。
(プラグの収納については 14 ページ参照)

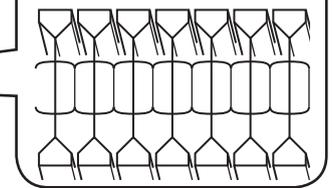
電源コード

取っ手

ヒーターを移動する際はここに指をかけ、ゆっくりと引いてください。

〈ラジエター水平断面図〉

幅広X字型フィン



ラジエター/フィン

キャスター (折りたたみ式)

折りたたみ式なので、必ず開いてください。(表紙参照)

ヒーターを移動する際のご注意

床材の質・種類によっては、床面が傷つく場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。また、階段や段差での移動は、ヒーターが十分冷えてから前後の取っ手を持って行ってください。

各部の名称とはたらき (つづき)

ディスプレイ



ご使用前にディスプレイの保護シールを必ずはがしてください。

温度／タイマー予約表示

+ / - ボタンで設定した温度が表示されます。タイマー予約の設定操作中は、暖房の開始または終了までの時間が表示されます。
(10、12 ページ参照)

タイマー設定表示

タイマー予約の設定操作中に点滅します。
(12 ページ参照)

凍結防止機能設定表示

凍結防止機能が設定されているときに表示されます。
(11 ページ参照)

エコ運転表示

エコ運転時に表示されます。
(11 ページ参照)

摂氏／華氏表示

設定温度の表示に合わせて摂氏 (°C) または華氏 (°F) の単位記号が表示されます。

時間表示

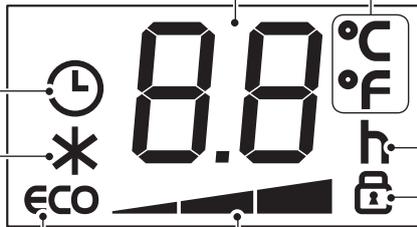
タイマー予約の設定操作中に点滅します。

チャイルドロック表示

チャイルドロックが設定されている際に、表示されます。
(13 ページ参照)

電力レベル設定表示

設定されている電力レベルが表示されます。
(10 ページ参照)



	表示	QSD0915	QSD0712
強		1500W	1200W
中		900W	700W
弱		600W	500W
運転停止	(表示なし)	-	-

※通常使用時にこれらが同時に表示されることはありません。
(初回使用時に電源プラグをコンセントに差し込んだ時のみ)

操作パネル

通電ランプ

電源プラグをコンセントに差し込むと赤色に点灯します。

電源ボタン

運転の開始／停止を行います。

電力レベルボタン

3段階に電力レベルを切り替えることができます。押すごとに「弱→中→強」と切り替わります。

+ / - ボタン

温度やタイマーの設定を変更するときに使用します。

電力レベルランプ

暖房の稼働状況を電力レベルに応じて色別で点灯します。
 強で稼働▶赤色
 中で稼働▶黄色
 弱で稼働▶緑色
 暖房停止▶消灯

タイマー予約設定ランプ

タイマー予約設定時に黄色で点灯します。

タイマー設定ボタン

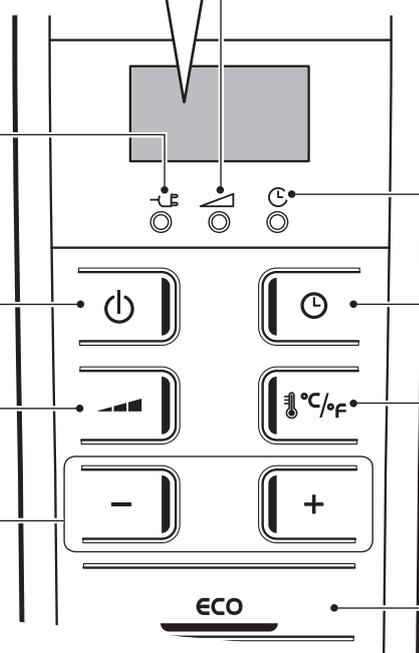
タイマーの設定および設定解除をするときに使用します。

摂氏／華氏選択ボタン

設定温度の表示を切り替えることができます。押すごとに、摂氏／華氏の表示が切り替わります。

エコ運転ボタン

エコ運転に切り替えることができます。押すごとにエコ運転⇄マニュアル運転と切り替わります。

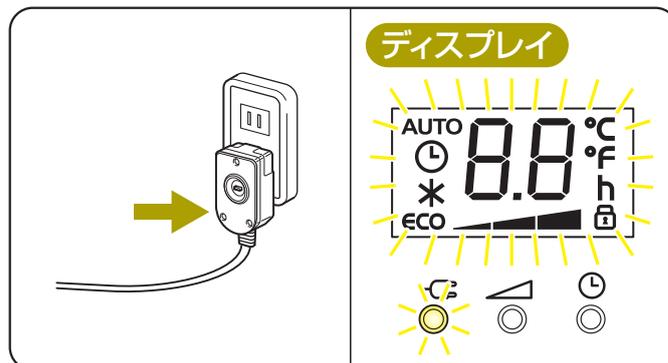


ヒント ボタンを操作する際は、各ボタンの | マーク付近を押してください。

暖房運転を開始する

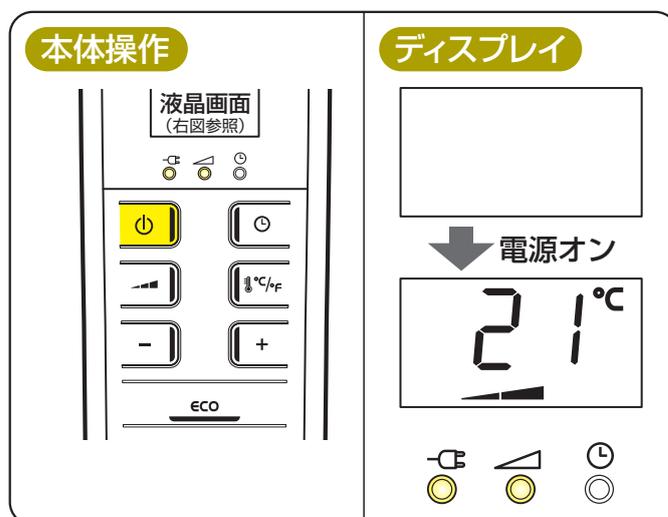
1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグはコンセントに直接、根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。
- 通電ランプが点灯し、ディスプレイが一時的にすべて点灯します。この時はまだ暖房は開始されません。



2 電源ボタンを押し、電源を入れる

- 電源を入れると、設定されている電力レベル・温度が表示されます。



3 設定を行う

① 電力レベル、温度を設定する

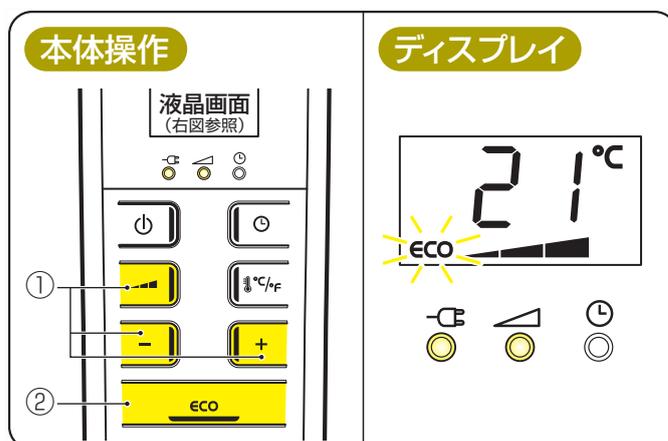
電力レベルボタン()で暖房の強さを、+/-ボタンで希望温度を、それぞれ設定してください。

- 各ボタンの詳しい説明は 10 ページ「暖房の調整をする」をお読みください。

② 運転モードを選択する

必要に応じて、エコ運転ボタンで運転モードを選択します。

- エコ運転モードの詳しい説明は 11 ページ「エコ運転の使い方」をお読みください。



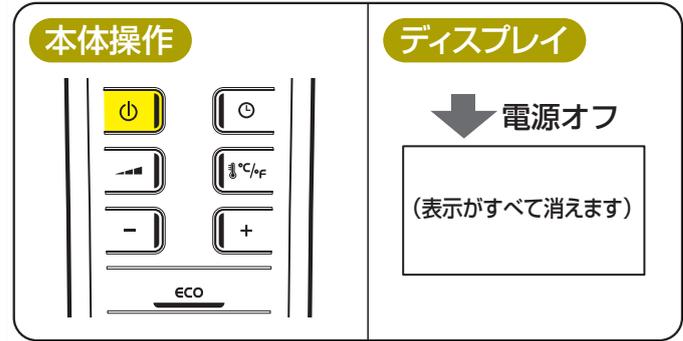
ヒーターは温度センサー付近の周辺温度を感知し、設定した温度を保つよう自動的に暖房のオン・オフを繰り返します。また、電力レベルランプは暖房の稼働状況に応じて、消点灯を繰り返します（ディスプレイの電力レベル設定表示は稼働状況に応じて変わらず、常に設定した電力レベルが表示されます）。

ヒント 暖房運転の開始時は室内を早く暖めるために、電力レベルを「強」に設定することをおすすめします。

暖房運転を終える

電源ボタンを押し、電源を切る

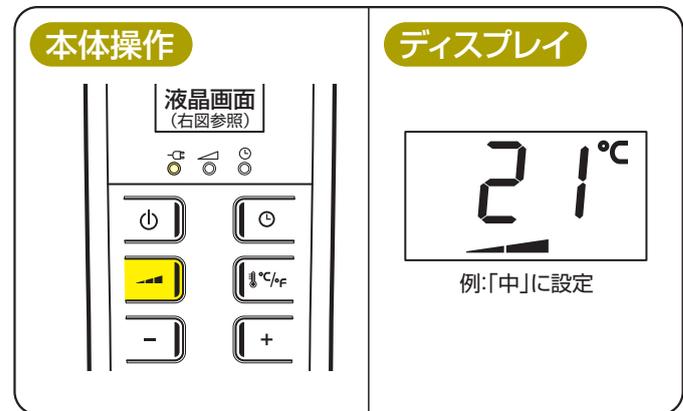
- ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



暖房の調整をする

A 電力レベルの設定

- 運転中に電力レベルボタンを押して、暖房の強さ（下表）をお好みに設定してください。ボタンを押すたびに、暖房の強さが切り替わります。

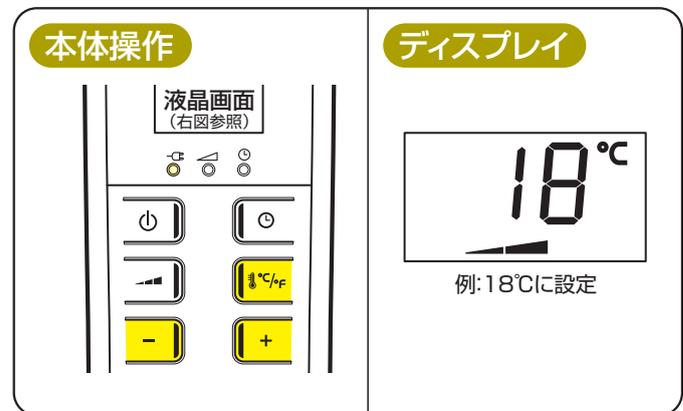


	ディスプレイ表示	電力レベルランプ表示 (稼動状況の表示)	QSD0915	QSD0712
強		赤色	1500W	1200W
中		黄色	900W	700W
弱		緑色	600W	500W

ヒント エコ運転モードでは、設定した電力レベルを上限として、自動的に最適な電力レベルに切り替わります。（詳しくは 11 ページ参照）

B 温度の設定

- 運転中に+/-ボタンを押して、お好みの温度を設定してください。設定可能範囲は 10～28℃（華氏表示でご使用の場合は 50～82°F）です。
- 摂氏表示と華氏表示の切替えは、**摂氏／華氏選択ボタン**で行ってください（工場出荷時は摂氏表示）。ボタンを押すたびに、ディスプレイ表示の℃と°Fが切り替わります。



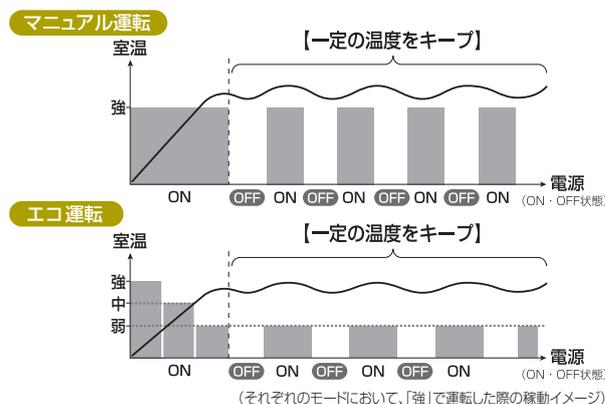
ヒント ヒーターは、温度センサー付近の周辺温度を感知し、設定した温度を保つよう自動的に暖房のオン・オフを繰り返します。そのため、設定した温度が周辺温度よりも低い場合には暖房は開始されません。ヒーター本体を暖めるため、**暖房開始時は最大温度（28℃）に設定することをおすすめします。**

エコ運転の使い方

暖房運転はマニュアル運転とエコ運転の2種類の運転モードから選べます。エコ運転は設定した温度より、ひかえめな温度（設定した温度より約0.5～2℃低い温度）で運転することにより消費電力量を減らすモードです。また、この運転モードではひかえめな温度になるように最適な電力レベルを自動で選択しますので、手動で切り替える必要がありません。

運転モード	動作温度	電力レベル
マニュアル運転	選択した温度	選択した電力レベル
エコ運転	選択した温度よりひかえめな温度	最適な電力レベルでの自動切替運転

※ 運転中、どの電力レベルで稼働しているかを電力レベルランプの色で確認できます。（10ページ「電力レベルの設定」を参照）

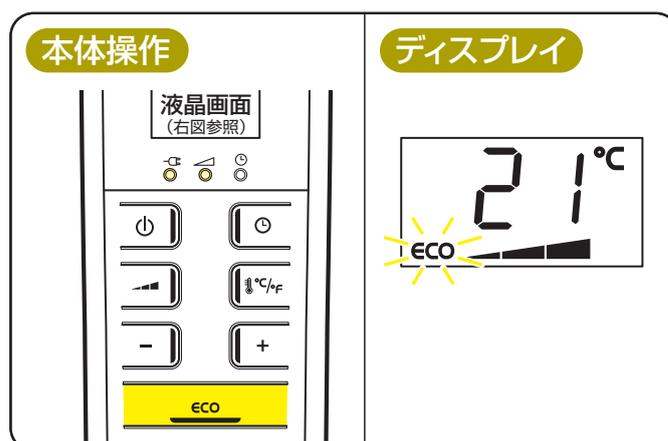


ヒント エコ運転モード時でも電力レベルを選択することができます。その場合は、選択した電力レベルを上限として、自動で切り替えて運転します。例：中でエコ運転した場合、ヒーターは自動で中・弱・オフを切り替えて運転します。

運転モードの切り替え方法

マニュアル運転中にエコ運転ボタンを押す

ディスプレイにエコ運転表示が表示され、エコ運転モードに切り替わります。マニュアル運転モードに戻す場合は、再度エコ運転ボタンを押してください。

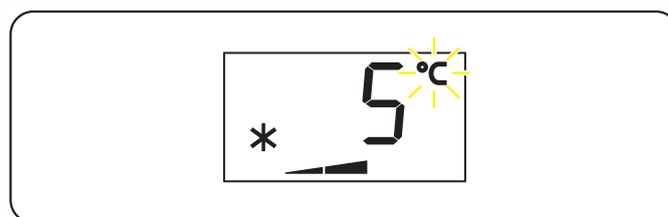


ヒント

- 室内を早く暖めるために、エコ運転時も電力レベルを「強」に設定することをおすすめします。お部屋が暖まるにつれ、自動で電力レベルを下げていきます。
- マニュアル運転では電力レベルを「強」ではなく、「中」や「弱」に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。ご使用時の外気温やお部屋の広さ、断熱性能に応じて使い分けてください。

凍結防止機能

ヒーターには周辺の温度が5℃以下になった場合に自動的に運転を開始し、室温の上がりすぎを防ぐ「凍結防止機能」が搭載されています。設定温度を「10℃ (50°F)」よりさらに下げること設定できます。温度表示が「5℃ (41°F)」と表示され、*マークが点灯し、「凍結防止」が設定されます。

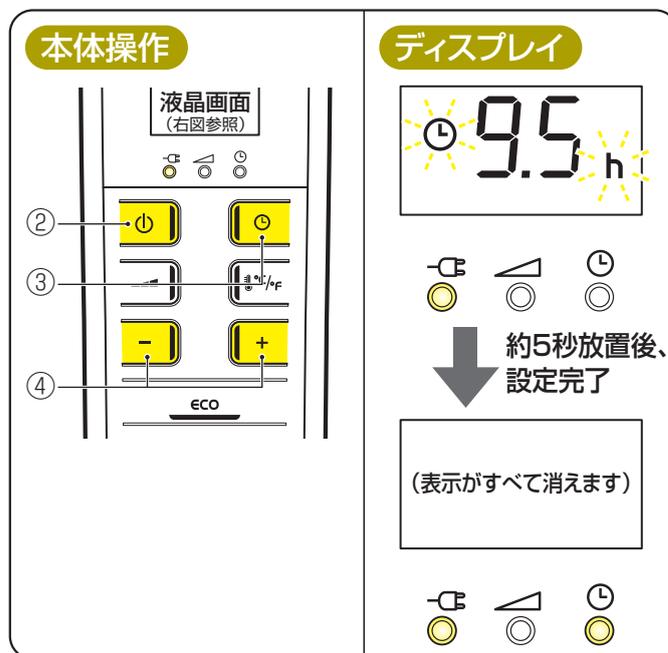


タイマー運転の方法

運転開始 (ON) や停止 (OFF) を予約できます (ON と OFF を両方設定することはできません)。電源オフ中に設定すると ON タイマー、運転中に設定すると OFF タイマーとして働きます。タイマーは、10 時間先までは 30 分ごと、10 ~ 24 時間先までは 1 時間ごとに設定できます。

ON タイマーを設定する

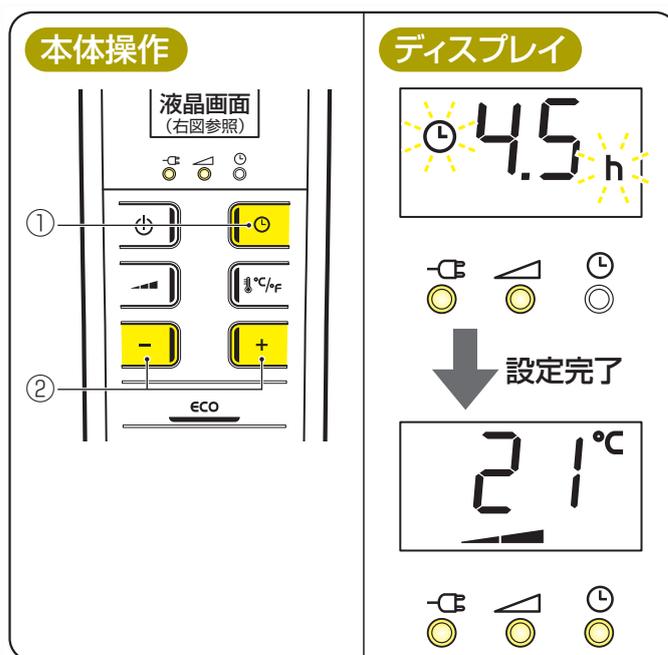
- ①タイマー運転開始時の動作設定をする
 - 電源をオンして、電力レベル、温度、エコ/マニュアル運転を設定してください (10 ~ 11 ページ)。
- ②電源ボタンを押し、電源を切る
- ③タイマー設定ボタンを押す
 - マークと **h** マークが点滅して、タイマー設定状態になります。
- ④運転開始時間を設定する
 - +/- ボタンで運転開始までの時間を設定してください (例: 9.5h = 9 時間 30 分後)。
- ⑤タイマー設定を完了する
 - 時間設定のあと、そのまま点滅が終了するのを待ってください (約 5 秒間)。タイマー設定が完了します。
 - 設定が完了すると、タイマー予約設定ランプが黄色く点灯します。



OFF タイマーを設定する

- ①暖房運転中にタイマー設定ボタンを押す
 - マークと **h** マークが点滅して、タイマー設定状態になります。

ご注意 そのまま約 5 秒間操作しないと、点滅が終了してタイマー設定が中止になります。
- ②運転終了時間を設定する
 - +/- ボタンで運転終了までの時間を設定してください (例: 4.5h = 4 時間 30 分後)。
- ③タイマー設定を完了する
 - 時間を設定したら、そのまま点滅が終了するのを待ってください (約 5 秒間)。タイマー設定が完了します。
 - 設定が完了すると、タイマー予約設定ランプが黄色く点灯します。



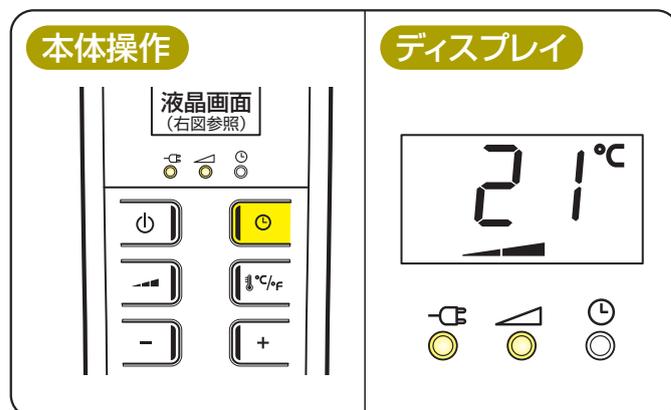
ヒント

- が点灯するとタイマー設定は完了です。点灯していないときは、再度タイマー設定の手順を行ってください。
- および **h** の点滅中にタイマー設定ボタンを押すと、タイマーが正しく設定されません。この場合も、タイマー設定の手順をはじめから繰り返してください。

タイマー運転の方法（つづき）

タイマー設定を解除したい場合は

タイマー設定ボタンを2回続けて押して、タイマー予約設定ランプが消灯している状態にしてください。タイマー運転が解除され、通常運転に切り替わります。

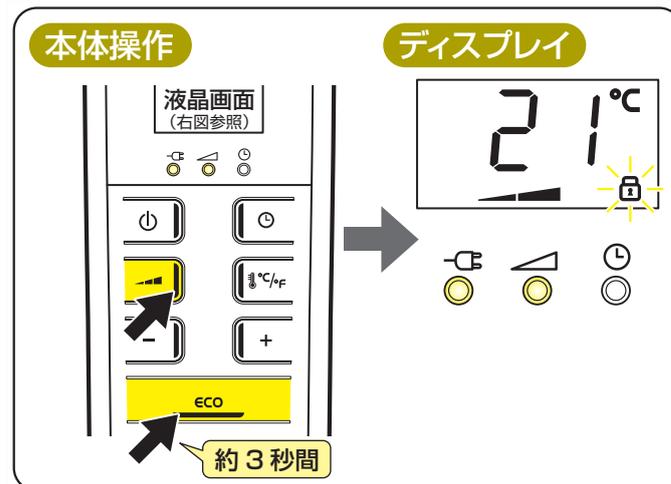


便利な機能について

チャイルドロック

電力レベルボタンとエコ運転ボタンを同時に約3秒間押し続けることで、「チャイルドロック」を行うことができます。設定時はディスプレイに🔒マークが表示され、操作パネルでの操作ができなくなります。解除するには、同様の操作を行ってください。

ヒント 両手で操作することをおすすめします。
チャイルドロックは、運転モードが「マニュアル運転」モードでも「エコ運転」モードでも設定できます。



液晶の明るさ設定

液晶は、ボタン操作から約5分間は最大の明るさで表示され、その後は暗くなります。ボタン操作から約5分経過後に液晶を消灯させることもできます。

●液晶を消灯させたい場合

エコ運転ボタンを、約5秒間押し続けます。

ディスプレイに「LO」と表示されたら、設定は完了です。

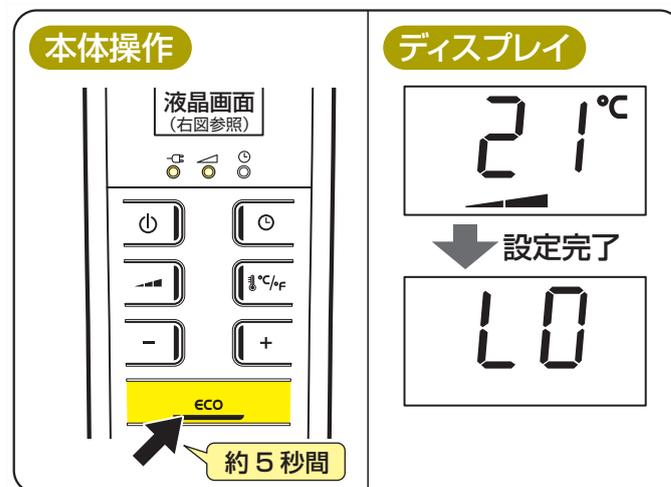
約5分経過後に液晶の表示が消灯します。

●液晶を表示させたい場合

再度エコ運転ボタンを、約5秒間押し続けます。

ディスプレイに「HI」と表示されたら、設定は完了です。

約5分経過後に液晶の表示が暗くなります。



お手入れ / 保管のしかた



- お手入れや保管をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない

保管のしかた

定期的なお手入れ

- 本体および床や壁との隙間に溜まっているゴミやほこりは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- コンセント（刃受）および電源プラグ（刃）に付着しているゴミやほこりは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。（4 ページ）

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。



洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

1 保管前のお手入れ

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったほこりを取り除いてください。

2 プラグの収納

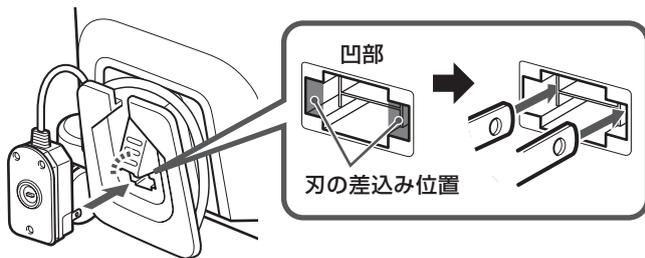
保管する前に、次の手順で電源プラグを収納します。

- ① 電源コードをコードホルダーに軽く巻く

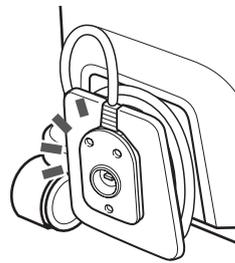


電源コードをコードホルダーに強く巻かない（火災の原因）

- ② 電源プラグの刃を凹部の両端に平行に合わせ、真っ直ぐ差し込む



- ③ 電源プラグを凹部の奥までしっかりと差し込む



電源プラグは収納部に正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障する恐れがあります。

3 保管するときの注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 箱に収納しない場合は、必ずキャスターを開いた状態で保管してください。



保管の際は、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、電源ボタン押しして電源を切り（＝運転を中止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は18ページ「アフターサービス」を参照してください。

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
電源ボタンを押しても、暖かにならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	電力レベルが低い	電力レベルボタンを押し、電力レベルを  （強）に設定します。
	設定温度が低い	+ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	チャイルドロックが設定されている	電力レベルボタンとエコ運転ボタンを同時に3秒間押し、チャイルドロックを解除します。（13ページ参照）
	電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している	運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社（18ページ）にご連絡ください。（詳しくは4ページ参照）
電源プラグをコンセントに差し込んでも通電ランプが点灯しない	通電ランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社（18ページ）にご連絡ください。
電源を入れても電力レベルランプが点灯しない	電力レベルランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社（18ページ）にご連絡ください。
	設定温度が低い	+ボタンを押し、設定温度を上げます。（温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。）
	タイマー運転をしている	タイマー設定ボタンを2回押し、通常運転に切り替えます。
タイマー設定ボタンを押してもタイマー予約設定ランプが点灯しない	タイマー予約設定ランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社（18ページ）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる（通常時目安：強運転時で約40℃）	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格15A以上のコンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差込み口（刃受）が2つあるコンセントで、両方の差込み口を使用している	差込み口（刃受）が2つあるコンセントを使用する際は、必ず、片方の差込み口を空けておきます。
	コンセントがガタついたり、差込み口（刃受）がゆるい	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または当社（18ページ）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードをコード・ホルダーから解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
電源プラグやコンセントに、ゴミやほこりが付着している	定期的に、付着しているゴミやほこりを取り除いてください。	

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
タイマーで設定した暖房の開始時刻になっても、暖房が始まらない	設定温度が低い	+ボタンを押し、設定温度を上げます。(温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。)
各種ランプは点灯するが、ディスプレイが表示されない	ディスプレイを消灯している	ディスプレイの明るさを最大にします。(13 ページ参照)
	ディスプレイが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社 (18 ページ) にご連絡ください。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件(断熱材や位置など)によって異なります	設定温度が低い	+ボタンを押し、設定温度を上げます。(温度センサー部の周辺温度より設定温度が低い場合は、暖房が開始されません。)
	電力レベルを  (弱) に設定している	電力レベルボタンを押し、電力レベルを  (強) に設定してください。
	ヒーターを、ドア(出入口)付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア(出入口)から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生する冷気の侵入を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。部屋を暖めたい 1 時間前に暖房運転が始まるようタイマーを設定しておく便利です。
ボタンを操作してもディスプレイが変化しない	ディスプレイ保護シールが貼られたままになっている。	ディスプレイ保護シールをはがしてご使用ください。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	<p>オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取扱いください。</p> <p>電源ボタンを押し電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、当社 (18 ページ) にご連絡ください。</p>

これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じる場合があります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

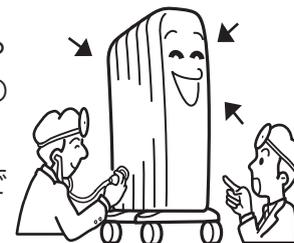
パチッパチッと音がする

電源を入れると、しばらく、ヒーター内部で天ぷらを揚げる様な音がする場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

まごころ点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をおすすめします。
 保証期間が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。
 点検の依頼および料金等につきましては、当社（18 ページ）までお問い合わせください。



仕様

製品名称	デロンギ ドラゴンデジタルスマート オイルヒーター	
型式番号	QSD0915	QSD0712
広さの目安	10畳 ^{*1} ～13畳 ^{*2}	8畳 ^{*1} ～10畳 ^{*2}
定格	電圧 / 周波数	交流 100V / 50/60Hz
	消費電力	600 W・900 W・1500 W 500 W・700 W・1200 W
外形寸法（約）	長さ 53.0cm × 幅 26.5cm × 高さ 66.0cm	長さ 46.0cm × 幅 26.5cm × 高さ 66.0cm
質量（約）	17.0kg	14.0kg
タイマー	デジタル ON/OFF タイマー	
安全装置	転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置（本体内）・ 復帰型温度過昇防止装置（電源プラグ内）	

※ 1 日本電機工業会自主基準

※ 2 デロンギ自社実験による。試験条件：新省エネルギー基準 外気温 5℃、5面接触

アフターサービス

1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、直ちに電源スイッチで電源を切り(=運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、15～16ページ「故障かな?」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形/破損している
- ・操作パネルや放熱板に、水やジュース(液体)などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お買い上げ日 ②製品名称と型式番号③故障の状況—を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

※本製品のメーカー保証範囲は裏表紙の保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります(補修用性能部品保有期間内)。

3) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4) デロンギ再資源化システムについて:



ご不要になった製品は、当社で費用を負担し、素材ごとに分別し、再資源化いたします。

製品のお預り方法など、再資源化のご相談は、下記までご連絡ください。

送料について:送料はお客様のご負担(元払い)となります。あらかじめご了承ください。

梱包について:製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアークッションにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



デロンギ お客様サポートセンター

(受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～18:00)

Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ(URL) — <http://www.delonghi.co.jp/support>

